

令和2年度観光入込客数等について

1 観光入込客数

1,700,300人 (前年度比 33.5%)

・令和元年度 5,079,300人 (前年度比 96.4%)

・平成30年度 5,270,500人 (前年度比 98.4%)

2 宿泊延数

403,200泊 (前年度比 44.5%)

・令和元年度 905,800泊 (前年度比 83.6%)

・平成30年度 1,083,100泊 (前年度比 115.8%)

3 外国人宿泊延数

1,353泊 (前年度比 0.6%)

・令和元年度 241,344泊 (前年度比 98.7%)

・平成30年度 244,515泊 (前年度比 118.8%)

4 月別内訳

(単位:千人)

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
観光入込客数	R2	16.2	31.6	118.7	240.4	290.3	442.4	226.3	86.6	77.2	39.5	56.1	75	1,700.3
	R1	170.9	403.3	509.3	716.2	742.9	693.8	463.3	259.8	348.3	324.4	394.4	52.7	5,079.3
	対前年(R2/R1)	9.5%	7.8%	23.3%	33.6%	39.1%	63.8%	48.8%	33.3%	22.2%	12.2%	14.2%	142.3%	33.5%
宿泊延数	R2	8.0	6.4	20.6	46.8	58.1	64.9	66.2	36.9	30.3	18.4	21.1	25.5	403.2
	R1	45.2	68.8	83.9	135.1	133.9	82.7	81.4	55.9	66.9	73.2	63.0	15.8	905.8
	対前年(R2/R1)	17.7%	9.3%	24.6%	34.6%	43.4%	78.5%	81.3%	66.0%	45.3%	25.1%	33.5%	161.4%	44.5%
外国人宿泊延数	R2	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.2	1.4
	R1	9.1	17.7	24.9	42.5	26.9	14.9	19.2	12.3	26.0	25.5	21.1	1.3	241.4
	対前年(R2/R1)	1.1%	0.0%	0.4%	0.5%	0.7%	0.7%	0.0%	0.8%	0.0%	0.4%	1.4%	15.4%	0.6%

5 特徴

令和2年度の観光入込客数及び宿泊延数ともに、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を大きく受け、前年度比較で過去最大の減少幅となった。

4月から5月にかけて発令された国の緊急事態宣言による外出や往来の自粛要請の影響で、5月は観光入込客数及び宿泊延数ともに前年度比9割以上の減少となったが、その後、国のG・O・T・ラベルや北海道のどうみん割といった宿泊支援事業や、飲食おもてなし事業など市独自の事業により、宿泊延数は9月、10月ともに前年度比約8割と、回復の兆しが見え始めていた。

しかし、11月以降、大規模クラスターの発生など市内で感染症が拡大したほか、G・O・T・ラベルや市の宿泊応援事業の停止などにより、1月の宿泊延べ数は前年度比7割以上の減少となり、最終的に前年度比5割以上の減少となった。

なお、外国人宿泊延べ数についても、海外渡航の制限により、同じく過去最大の減少幅となった。